

## 安全データシート(表紙)

### 製品及び会社情報

カタログ番号	334887
製品名	Sigma Antifoam-A Concentrate
販売会社名	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
住所	東京都港区赤坂 4 丁目 15 番 1 号
連絡先	<a href="http://www.bdj.co.jp/s/cs/">www.bdj.co.jp/s/cs/</a>
推奨用途	消泡剤
使用上の制限	薬事、家庭用他の目的で製品を使用しないこと

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシートおよびをご参照ください。

<https://www.sigmaaldrich.com/SG/en>

# 安全データシート

版番号 6.10  
改訂日 01.06.2023  
印刷日 29.07.2023

## 1. 化学品及び会社情報

### 1.1 製品識別名

製品名 : Antifoam A Concentrate

カタログ番号 : A5633

ブランド : Sigma

### 1.2 他の特定手段

データなし

### 1.3 推奨用途及び使用上の制限

特定用途 : 研究開発での使用のみ。薬事、家庭用その他の用途には用いない。

### 1.4 安全データシート作成者の詳細

会社名 : Sigma-Aldrich Japan G.K.  
1-8-1 Arco Tower, Shimomeguro, Meguro-ku  
TOKYO 153-8927  
JAPAN  
東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー  
担当部門 : ライフサイエンス  
レギュラトリーアフェアーズ

電話番号 : +81 (03) 6758-3625

FAX : +81 (03) 6756-8300

### 1.5 緊急連絡電話番号

緊急連絡先TEL : +81 (0)3 4520 9637 (CHEMTREC)

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1 GHS分類

水生環境有害性 短期 (急性) (区分1), H400

水生環境有害性 長期（慢性）（区分1), H410

このセクションで言及されたH-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

## 2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H410

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

P273

環境への放出を避けること。

応急措置

P391

漏出物を回収すること。

廃棄

P501

内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 2.3 他の危険有害性 - なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

### 危険有害成分

化学名	分類	含有量
<b>2,2,4,4,6,6,8,8-オクタメチルシクロテトラシロキサン</b>		
CAS番号 556-67-2 EC番号 209-136-7 化審法官報公示番号 7-475 安衛法官報公示番号 -	Flam. Liq. 3; Repr. 2; Aquatic Acute 1; Aquatic Chronic 1; H226, H361, H400, H410 M-ファクター - Aquatic Acute: 10 - Aquatic Chronic: 10	3 %
<b>DIMETHYLCYCLOSILOXANES</b>		
化審法官報公示番号 安衛法官報公示番号 -	Acute Tox. 4; H302	>= 1 - < 10 %

-		
---	--	--

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後は水を飲ませる(多くても2杯)。気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

#### 適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 粉末

#### 使ってはならない消火剤

なし本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

## 5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

ケイ素酸化物

ホルムアルデヒド

炭素酸化物

ケイ素酸化物

製品の分解物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。

可燃性。

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

## 5.3 消防士へのアドバイス

火災時には、自給式呼吸器を着用する。

## 5.4 詳細情報

ガス / 蒸気 / ミストを水スプレージェットで抑える ( 除去する )。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと  
個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemisorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。  
関係エリアを清掃のこと。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

### 保管条件

密閉のこと。

### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 10: 可燃性液体

## 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

#### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

### 8.2 曝露防止

#### 適切な技術的管理

汚した衣類は替えること。本物質を扱った後は手を洗うこと。

#### 保護具

##### 眼 / 顔面の保護

NIOSH ( US ) または EN 166 ( EU ) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

##### 皮膚及び身体の保護具

必要なし

##### 呼吸用保護具

エアゾル形成時以外は不要。

##### 環境曝露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 9.1 基礎物理および化学特性の情報

a) 物理状態                      液体

b) 色	データなし
c) 臭い	データなし
d) 融点 / 凝固点	データなし
e) 沸点, 初留点及び沸騰 範囲	200 °C
f) 可燃性 ( 固体、気体 )	データなし
g) 爆発下限界及び爆発上 限界 / 可燃限界	データなし
h) 引火点	> 101 °C - 密閉式引火点試験
i) 自然発火温度	データなし
j) 分解温度	データなし
k) pH	データなし
l) 粘度	動粘度 ( 動粘性率 ) : 1500 mm <sup>2</sup> /s  粘度(粘性率): データなし
m) 水溶性	データなし
n) n-オクタノール / 水分 配係数 ( log 値 )	データなし
o) 蒸気圧	データなし
p) 密度	0.97 g/mL at 25 °C
比重	0.97
q) 相対ガス密度	
r) 粒子特性	データなし
s) 爆発特性	非該当
t) 酸化特性	本製品は酸化性物質としては分類されない。

## 9.2 その他の安全情報

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

反応性危険としては分類されない。

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

情報なし

### 10.5 混触危険物質

強酸化剤

### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

#### 混合物

#### 急性毒性

急性毒性推定値: 経口 - > 2,000 mg/kg

(計算による方法)

急性毒性推定値: 吸入 - 4 h - > 40 mg/l - 蒸気(計算による方法)

急性毒性推定値: 経皮 - > 5,000 mg/kg

(計算による方法)

#### 皮膚腐食性 / 刺激性

備考: 入手可能なデータによれば、区分外となる

#### 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

備考: 入手可能なデータによれば、区分外となる

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

#### 生殖細胞変異原性

In vitro試験で、突然変異誘発性が示されなかった

試験タイプ: Ames 試験

結果: 陰性

#### 発がん性

データなし

#### 生殖毒性

生殖毒性- ラット- オスおよびメス- 飲み込んだ場合

動物実験による限り性的機能および繁殖力、発育への悪影響に関わる 証拠は無い。

発生毒性- ラット- オスおよびメス

#### 特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 )

データなし

#### 特定標的臓器毒性 ( 反復ばく露 )

データなし

#### 誤えん有害性

データなし

### 11.2 追加情報

反復投与毒性 - ラット - 飲み込んだ場合

有害性は除外できないが、適切に取り扱えばその可能性は低い。

#### 成分

#### 2,2,4,4,6,6,8,8-オクタメチルシクロテトラシロキサン

##### 急性毒性

LD50 経口 - ラット - オス - > 4,800 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 401)

LC50 吸入 - ラット - オスおよびメス - 4 h - 36 mg/l - 粉じん/ミスト

(OECD 試験ガイドライン 403)

LD50 経皮 - ラット - オスおよびメス - > 2,400 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 402)

備考: (IUCLID)

##### 皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 皮膚刺激なし - 24 h

(OECD 試験ガイドライン 404)

**眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性**

眼 - ウサギ

結果: 眼への刺激なし

(OECD 試験ガイドライン 405)

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

マキシマイゼーション試験 - モルモット

結果: 皮膚を過敏化させない。

(OECD 試験ガイドライン 406)

**生殖細胞変異原性**

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験

テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞

結果: 陰性

試験タイプ: Ames 試験

テストシステム: ネズミチフス菌 ( S. typhimurium )

結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験

テストシステム: Mouse lymphoma test

結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 475

種: ラット - オスおよびメス

結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 478

種: ラット - オスおよびメス - 骨髄

結果: 陰性

**発がん性**

データなし

**生殖毒性**

生殖能への悪影響のおそれの疑い。

**特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 )**

データなし

**特定標的臓器毒性 ( 反復ばく露 )**

**誤えん有害性**

データなし

## DIMETHYLCYCLOSILOXANES

### 急性毒性

経口：データなし

吸入：データなし

経皮：データなし

### 皮膚腐食性 / 刺激性

データなし

### 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

データなし

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

### 生殖細胞変異原性

データなし

### 発がん性

データなし

### 生殖毒性

データなし

### 特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 )

データなし

### 特定標的臓器毒性 ( 反復ばく露 )

データなし

### 誤えん有害性

データなし

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 混合物

データなし

### 12.2 残留性・分解性

データなし

Sigma- A5633

ページ 10 の 14

The life science business of Merck operates as MilliporeSigma in the US and Canada



### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壤中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

### 12.6 内分泌かく乱性

データなし

### 12.7 他の有害影響

#### オゾン層への有害性

非該当

データなし

#### 成分

#### 2,2,4,4,6,6,8,8-オクタメチルシクロテトラシロキサンの

魚毒性	流水式試験 LC50 - Oncorhynchus mykiss (ニジマス) - > 0.022 mg/l - 96 h (US-EPA)
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	流水式試験 EC50 - Daphnia magna (オオミジンコ) - > 0.015 mg/l - 48 h (US-EPA)
藻類に対する毒性	ErC50 - Pseudokirchneriella subcapitata - > 0.022 mg/l - 96 h (US-EPA)
魚毒性(慢性毒性)	流水式試験 最大無影響濃度 - Oncorhynchus mykiss (ニジマス) - >= 0.0044 mg/l - 93 d 備考: (ECHA)
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性(慢性毒性)	流水式試験 最大無影響濃度 - Daphnia magna (オオミジンコ) - 0.0079 mg/l - 21 d (US-EPA)

#### DIMETHYLCYCLOSILOXANES

データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

#### 製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 3082    IMDG (海上規制): 3082    IATA-DGR (航空規制): 3082

### 14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.  
(2,2,4,4,6,6,8,8-オクタメチルシクロテトラシロキサン) (2,2,4,4,6,6,8,8-オクタメチルシクロテトラシロキサン)

IMDG (海上規制): ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.  
(Octamethylcyclotetrasiloxane) (Octamethylcyclotetrasiloxane)

IATA-DGR (航空規制): Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.  
(Octamethylcyclotetrasiloxane) (Octamethylcyclotetrasiloxane)

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 9    IMDG (海上規制): 9    IATA-DGR (航空規制): 9

### 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): III    IMDG (海上規制): III    IATA-DGR (航空規制): III

### 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 該当    IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): 該当    IATA-DGR (航空規制): 該当

### 14.6 特別の安全対策

### 14.7 混触危険物質

強酸化剤

#### 詳細情報

5 kg / L 以下で、危険物クラス 9 に該当しないパッケージ

---

## 15. 適用法令

### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

#### 国内適用法令

消防法: 危険物に該当しない。

毒物及び劇物取締法: 非該当

#### 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則: 非該当

規則:

有機溶剤中毒予防規則: 非該当

規則:

名称等を通知すべき危険物及び有害物: 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

名称等を表示すべき危険物及び有害物: 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

化学物質排出把握管理促進法: 第一種指定化学物質, 2023年4月1日から - 2,2,4,4,6,6,8,8-オクタメチルシクロ

テトラシロキサンの非該当

非該当

---

## 16. その他の情報

-セクション 2 および 3 において言及された H-ステートメントの全文。

H226	引火性液体及び蒸気。
H302	飲み込むと有害。
H361	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

## 詳細情報

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

Copyright 2020 Sigma-Aldrich Co. LLC. により、社内限定使用以外の本書の複写を禁じています。弊社ブランド移行期のため、この文書のヘッダーやフッターのブランド名はご購入製品のブランド名と合わない場合があります。しかし、文書中の製品に関する情報は変わらず、ご注文の製品に合致します。詳細は、こちらまでお問合せください。mlsbranding@sial.com.